

令和6年度 乙訓圏域障がい者自立支援協議会

「医療的ケア」委員会 活動報告

1 設置の目的、役割等

医療的ケア」委員会は、日常的に医療的ケアが必要な障がいのある人が安心して地域で生活していけるよう、関係機関が連携して支援体制を構築・確保するために必要なことについて、具体化に向けた協議を進めることを目的とし、具体的な取組に結びつけていく役割があります。

2 昨年度までの経過

平成23年度から自立支援協議会の常設委員会として設置され、「介護職員等による喀痰吸引等研修」の実施や「入院時コミュニケーション支援」の制度化を進めてきました。令和4年度は医療的ケア児の保育所入所に係る課題について個別ケース検討を行い、報告をまとめました。またワーキングチームでは、これまで協議を重ねてきた「医療型短期入所」や「施設における口腔ケア」等の課題に対して具体的に取組を進めてきました。

3 今年度の取組状況

第1回 令和6年6月25日(火)

- 1) 自立支援協議会について
- 2) 委員長、副委員長の選出
- 3) 昨年度の取組の報告・今年度の取組の確認
乙訓在宅療養児支援体制検討会について報告
ワーキングチーム(案)
 - ・人材育成・周知活動
 - ・医療型短期入所の利用に向けて
 - ・医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者のフォローアップ交流会
 - ・施設口腔管理
- 4) その他
共生型福祉施設構想について意見交換

第2回 令和6年8月29日(木)

- 1) 人材育成・周知活動
- 2) 医療型短期入所の利用に向けて
- 3) 医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者のフォローアップ交流会
- 4) 施設口腔管理

- 5) 医療依存度の高い方の社会とのつながりについて
 - ・個別のケースについて
 - ・ライフステージごとの就園・就学に伴う課題

第3回 令和6年10月24日(木)

- 1) 人材育成・周知活動
- 2) 医療型短期入所の利用に向けて
- 3) 医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者のフォローアップ交流会
- 4) 施設口腔管理
- 5) 就園・就学について
- 6) その他
 - ・特別なコミュニケーション支援が必要な障害児者の入院時における支援者の付き添いの受入れについて

第4回 令和6年12月19日(木)

医療的ケア児等への支援に関する施策・補助金についての学習会

第5回 令和7年1月30日(木)

- 1) 学習会
- 2) 人材育成・周知活動
- 3) 医療型短期入所の利用に向けて
- 4) 医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者のフォローアップ交流会
- 5) 施設口腔管理
- 6) 今年度の活動報告
- 7) その他
 - ・特別支援学校医療的ケア安心サポート事業

4 今年度の活動

(1) 人材育成・周知活動について

乙訓福祉会が実施する喀痰吸引等研修(3号研修)への協力と長岡京市私立保育園の園長会で3号研修の周知を行いました。また、大山崎町社会福祉協議会のあかりちゃん祭りに参加し、来場者から当事者への質問コーナー(参加者がくじを引きそこにかかれた質問を当事者にする)を設けふれあい交流の場としました。ふれあい交流では初めての出会いに緊張した表情で質問をされますが、質問を通して当事者の方がどのような方かわかると参加者から自然な質問が生まれたり、電動車いすをどのように動かすのかを見せてもらい驚かれるとともにそれがきっかけとなって会話が弾んだりするなど、お互いに楽しい時間となりました。「当事者と関わる」このような機会を設けていくことが、医療的ケアの理解への第一歩になることを期待します。また、喀痰吸引のシミュレーター体験を通して、普段聞きなれない「医療的ケア」という言葉を知っていただくきっかけとしました。参加者は69名で親子や友達と一緒に参加された方が多かったです。

(2) 医療型短期入所「春風」の利用に向けた準備

当事者とご家族に向けた見学と説明会を行いました。「医療的ケア」委員会から利用の流れや手続きの説明を行い、春風からは施設の概要や重要事項について説明を受けました。その後、実際に利用する予定の居室や入浴設備などを見学し、参加者からは「実際の設備を見ることができてよかった」という声をいただきました。

利用に向けての準備として見学と説明会の活動は今年度で一旦終了となります。

<資料 1>

(3) 医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者のフォローアップ交流会について

昨年度より引き続き、京都府医療的ケア児等支援センター「ことのわ」から相談内容の現状やその対応についてご報告いただきました。

ライフステージに沿った具体的な事例として、成人の病院から自宅生活を考えるにあたり、どのような方と連携し、ご家族の思いにも寄り添いながらどのような支援をいれたのか、その過程や相談支援専門員としての思いを交えながら事例紹介をしていただきました。課題としては、訪問入浴の回数制限があがっていました。その後、各グループで事例発表を受けて感じたことや地域課題等について意見交流を行いました。それぞれが気になる点や大切にしたい視点、課題解決に向けた話など様々な話に広がり、その内容を各グループから報告し全体で共有しました。

<資料 2>

(4) 施設における口腔管理について

地域療育等支援事業を利用している事業所の家族や利用者を対象に、「かかりつけ医の有無、受診頻度、通院に繋がらない理由などを聞く」アンケート調査を実施しました。その結果、かかりつけ医がいる方が多く、通院も定期的に行っている方が大半であり、長年の地域療育等支援事業の成果であることを認識しました。

一方、地域療育等支援事業を利用していない事業所や自立度の高い方の口腔状態及び管理への意識についても啓発活動の必要性を認識し、定期的に本人や家族、事業所とモニタリング等を行っている相談支援専門員への啓発を行うことが、口腔状態及び管理への意識を高めることにつながると考えました。そこで、3月中旬に相談支援事業所連絡会で「口腔管理の大切さとかかりつけ医の必要性について」大橋委員と岩崎委員から講話を行いました。

<資料 3>

(5) 医療的ケア児・者の生活を支えるために必要なことについて

「医療的ケア安心サポート事業」、「重度障害者就労支援特別事業」、「入院時コミュニケーション支援」等の制度について情報共有や現状報告を行いました。また、「医療依存度の高い方の社会とのつながり」「医療的ケア児等コーディネーターの配置」について意見交換を行いました。

「就園・就学に関する課題」について、相談支援専門員から現状を聞き取り、委員会で就園・就学に関わる制度について学習会を行いました。学習会内容については、まとめたものを相談支援事業所連絡会や行政の担当課に情報提供をしました。

「乙訓在宅療養児支援体制検討会」に「医療的ケア委員会」として出席し、令和6年度の活動報告を行いました。また、乙訓在宅療養児支援体制検討会事務局からは令和5年度の協議内容について報告を受けました。

<資料 4>

5 次年度の課題と方針

(1) 人材育成・周知活動について

障害福祉サービス等提供事業所への周知はもちろん、それ以外の機関にもまずは3号研修を知っていただくことが必要と考えます。そのためには喀痰吸引等研修プロジェクトと連携し、1人でも多く3号研修の受講や見学に繋がるよう児童の関係機関にも働きかけを行います。

また、社協まつりへの参加や新たに教育の場への周知活動として福祉教育に繋げていけるような企画を検討します。

(2) 医療型短期入所「春風」の利用について

当事者にとって「もし親に何かあったらどうしたらいいのか」や、ご家族にとって「もし自分に何かあったらどうするのか」について、乙訓にある医療型短期入所「春風」は数少ない選択肢の1つです。ただ、常に安心できるご家族が近くにいる自宅とは大きく異なります。この課題は容易に解決することではありませんが、予期せぬ急な利用は利用する側も受け入れる側も避けたいです。お互いを知り、慣れる準備をどのように進めるのか、乙訓にあるからこそできる強みもあると考えます。医療型短期入所「春風」の利用状況や実際の利用を通じた課題把握を乙訓障がい者基幹相談支援センターで行い、定期的に委員会で報告します。

(3) 医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者のフォローアップについて

医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者として、多職種・関係機関との連携や社会資源を活用・開発する力等スキルアップが求められます。そのために、地域で求められる役割や日常の支援における課題等について話し合

う場として、引き続き、京都府医療的ケア児等支援センター「ことのわ」と連携し、フォローアップ交流会を実施します。

(4) 施設における口腔管理について

地域療育等支援事業が終了するかもしれないという話が毎年のようにあるため、事業継続について注視します。もし、事業が終了することになれば、地域療育等支援事業を利用していた事業所のその後の取組や困りごとの状況把握が必要だと考えます。

また、事業所における口腔管理の必要性や理解を深めていくための検討を行います。

(5) 医療的ケア児・者の生活を支えるために必要なことについて

「医療的ケア児者やご家族から寄せられた日常生活の困りごと」、「医療型短期入所の利用状況」、「医療的ケア児等コーディネーターの配置」等について情報共有し、必要に応じて協議・検討を行います。

「医療的ケア児等への支援に関する施策・補助金についての学習会」をふまえて、乙訓でどのような事ができるのか検討します。

「長岡京市共生型福祉施設構想」について、医療的ケアのある方も利用できる施設であることが強く望まれるため今後の動きについて注視します。

「乙訓在宅療養児支援体制検討会」と連携し、必要な事項について情報共有や協議・検討を行います。

<添付資料>

資料1 医療型短期入所「春風」の見学と説明会 報告

資料2 令和6年度医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者のフォローアップ交流会 報告

資料3 障がい者福祉施設利用者の口腔管理状況に関するアンケート調査 結果

資料4 令和6年度「医療的ケア」委員会 学習会まとめ 医療的ケア児に関わる施策・補助金とその施策を利用した自治体の取組について

